

清水町といえば…



A SPECIAL EDITION
by Team ぶらひがし

清水町のおもしろい
ネタをご紹介します。

今回は清水町！

その① 城山



清水町の城山(じょやま)は、かたちのいい美しい山で、富士山によく似ているので、清水尻の小富士と呼ばれていました。また山がとがっていて鐘(やり)の先に似ているので鐘嶮(やりかみ)山ともいわれていました。この山に朝倉氏の家臣、村野源五郎影光(かげみつ)が城を築いたので、その城を「ヤリカミ城」と呼びました。城が築かれてからは、清水の城山というようになりました。

※その①とその②の記事引用:清水町のむかしばなし



その② 鼓岩

新世代新第3期中新世中期(おおよそ1,500万年ほど前。ヒト科が現れた時代でもあります。)の岩石で、湖の底で礫が堆積した上に安山岩質の土砂が積って固まった累積層です。市指定文化財でもあります。

昔、殿様が休憩した言い伝えがあり、涼み石とも呼ばれています。

その③ 里川

清水町には5つの清水(しょうず)があり、最も大きな清水は「大清水」と呼ばれ昔から生活用水として利用されてきました。周りは石積みで囲まれていて、今も昔ながらの風景を保っており、集落の長い歴史を感じる事ができます。

平成29年1月、福井市の里川、「清水湧水群—大清水(しょうず)」として認定されました。



そのほか 大字名

「清水町」という大字名は、これまでに数回変更されています。地元以外の方には少々ややこしい…。

- 明治22年4月～ 丹生郡三方村 「清水尻」
- 昭和30年7月28日～ 丹生郡清水町 「清水」
- 平成18年2月 1日～ 福井市 「清水町」

清水町のおいたち

志津川が日野川に合流する要所で、村の後には、城山(じょやま)という高い山がそびえています。この山は水山と呼ばれ、山の麓に「清水」が湧き出しています。そして志津川の川尻にあたるので、「清水尻」と呼ばれるようになりました。

古代人が早くから住みついた所で、近くの北堀(福井市安居地区)には貝塚があり(※【1】)、古代人の食べたシジミ貝や獣の骨が発見されています。

清水(清水町)の足高山(あしだかやま)(※【2】)には、十数基の円墳や前方後円墳がつけられてあり、古墳時代には豪族が住んでいたことを物語っています。

記事引用: 清水町のむかしばなし



• Team ぶらひがしとは、清水東公民館の広報部を中心とした有志の集まりです。日々、地区内のおもしろいネタを探しつつぶらついていきます。

ヤリカミ城主ものがたり

清水の城山（じょやま）は、かたちのいい美しい山で、富士山によく似ているので、清水尻の小富士と、呼ばれていたといひます。また山がとがっていて鑿（やり）の先にならているので鑿嚙（やりかみ）山ともいわれていました。この山に朝倉氏の家臣、村野源五郎景光（かげみつ）が城を築いたので、その城を「ヤリカミ城」と呼んだ。城が築かれてからは、清水の城山というようになりました。

この城山は、高さが百二十メートルもある急な山で、たいへん攻めにくく、南の山裾には城主村野氏の館があり、武将の守り神「八幡神社」を祭ってありました。

この神社のわきから、美しい清水が年中湧き出ているので「清水尻」という地名が生まれたといわれています。

天正三年（1575年）八月、織田信長の軍が一向一揆征伐のため、越前へ攻め入り、そのころ一揆勢に味方していた景光の孫、村野景政の清水尻館へも、信長勢が攻めかかってきました。

織田方では、日野川べりの片粕町のアサ畑のアサをくくって、旗や松明（たいまつ）を立て大軍が攻めてきたように見せかけたりし、また八幡神社の前では、はげしい戦いがくりひろげられました。キビ畑の中にかくれていた景政の兵士は、キビといっしょに、薙ぎ殺されたといわれています。それからはこの辺では、キビを作らないようになったとのこと。

この戦いの時、城主景政の「奥方」は、家財道具を持って和田町の田中孫四郎家へのがれ、かくまってもらいました。この孫四郎家を覚信（かくしん）と呼んでいます。これは奥方をかくしたので、「かくし」がなまってかくしんという屋号がついたといわれています。

城主景政は命からがら、日野川を渡り、（対岸の）西下野町へ逃げのびました。そして下野のある百姓の家の、モミガラを入れた大きなむしろの「ツト」の中にかくれていた。

ところが、織田方にそのことを、密告したものがいて、ツトの中にかくれていた景政は、外からの一突きで刺し殺されました。その時、景政は、

「密告するとは、卑きょうじゃー。末代たたってやるぞー。」と、叫んで死んだといひます。

それから、この家では正月一日に雑煮をにると、そのたたりで餅がドロドロにとけて、白い蛇になって自在鉤（じざいかぎ）の縄をつとんで、つし（二階の物置）へ上ると伝えられ、正月二日から雑煮を食べるようにしているとのこと。

なお、ヤリカミ城主村野景政の子景宗は、織田方に降参して、清水尻の館に住んでいました。その後、天正四年春には、一向一揆方に焼かれてしまった竹生の薬師宮（現在の丹生神社）を建てなおしたという記録が残っています。

記事の引用：清水町のむかしばなし

大正天皇御即位記念碑

大正4年に大正天皇の御即位式が京都御所で行われました。この御即位式（御大典とよびます。）を記念して、清水町では、城山の山頂に記念碑を建立しました。水田高約100メートルという急な高い山頂に高さ1メートル70センチという大きな自然石と笏谷石（しゃくだにいし）の台石を、山頂まで引き上げるのは並大抵ではありませんでした。滑車と太縄で何日も村中総出で山頂へ上げたといわれています。当時の村民の皇室崇拜の篤かったことが偲べれます。

碑には「御即位記念碑」と筆太に彫られ、題字は時の丹生郡長 正七位勲6等 鷲田又兵衛でありました。なお、昭和23年福井大地震の時倒壊し放置されていましたが、昭和53年昭和会員の手によって再建整備されました。

記事の引用：清水町史



山頂にある大正天皇御即位記念碑